

元気になるし!

# あいかわ健康の日2008の開催日にあわせ さぽせん登録団体活動発表会を開催!

6/1(日)

午後1時より

役場：庁舎分館(旧消防署)

## 六倉あるこーかい



広がる  
つながる

### ウォーキングロード



地域のために長年働いてきたエキスパート達が集まって新しくできた団体です。

19年度のアイデア事業にも採用され経験と知恵をいかし、めでたく「愛川東六倉ウォーキングロード」が完成しました。しかし本当の物語はこれから始まります。

「ここに花を植えたいわ!」「老人会で歩こうよ!」「子供たちの野外活動のために使わせて欲しい!」他市町村からの問い合わせの数々...すごいウォーキングロード効果。

そしてその成功効果はまだまだ進行中です。

## 生涯現役



## 大正スポーツクラブ

30年も活動が続いた秘訣聞きます

その名のごとく半原地区在住で大正生まれの人達が30年前につくった歴史ある健康づくりのグループです。今は主にソフトボール・バドミントンや歩け!歩け!を楽しく無理せずやっています。日頃から運動をなかなかできないという方もどうぞお気軽に一緒に体を動かしませんか? 30年を迎えこれからの新しい展望としては、他のボランティア団体と協力してゴミを拾ったり、炭焼きの会の方々と何かやりたいと考えています。

“大正スポーツクラブ これからも元気です”



大正スポーツクラブ 宮ヶ瀬ダム 2007.2.24



5月29日(木)～6月3日(火)登録団体展示発表(サポートセンター内)

・愛川国際交流クラブ・日本の竹ファンクラブ・あしぼ・サークル 愛川自然観察会



# さぽせん あいかわ

臨時増刊号

平成20年5月20日発行

## あいかわ町民活動サポートセンター

Home <http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/saposen/index.htm>

編集・発行 あいかわ町民活動サポートセンター  
運営委員会  
住所 愛川町角田251番地1  
電話 046-205-1323  
Mail ai-saposen@bz01.plala.or.jp

## — サポートセンター1周年記念 —

松下啓一先生の講演から

# まちは町民がつくるんだ！



### 「協働」こそキーワード

平成20年3月23日(日)に「あいかわ町民活動サポートセンター」開設一周年を記念して、相模女子大学松下啓一先生による「まちづくり」をテーマとした講演会を開催しました。

講演会で、松下先生は、「これからのまちづくりは、住民と行政が共に主体で、対等に責任を分かち合いながら協力していく関係(協働型)」ということを言われてきました。これは、私たち運営委員にとっても、この1年を通して実感したところでもあります。

そんな、松下先生の講演の要点をここでご紹介いたします。

### 「パートナーシップの時代」になってきた

地方分権化により、行政の仕事はますます増えてきています。その一方、少子高齢化が進み、税収と行政の負担(収支)のバランスは悪化するばかりのため、行政の力だけでは解決できない問題がたくさん出てきました。「建物をつくり、設備を整えれば、まちづくりが完成」の時代ではなくなりました。これを活かす、組織・情報・知恵などを「ソフト」と呼んでいますが、今は、この「ソフトを主体としたまちづくり」への転換が求められています。まちづくりを今までのように行政だけに任せるのには、限りが出てきました。

行政は、このような問題をどう解決するかを考え、模索しているなかで、新しい感覚の人、ボランティア・NPOなどの人たちの「智」の必要を痛感するようになりました。その結果、これらの人たちと「協働」のまちづくりを目指すようになり、「行政と住民がともに主体で対等な責任で協力・・・」このパートナーシップの精神が重要となってきたのです。

阪神・淡路大震災の時、行政機構も防災システムもマヒしました。その中でまず、被害者の救出に動き出したのは“ご近所の人たち”でした。先生は、この光景を目の当たりにして、「まちづくりの原点」を確信したそうです。

町をつくっているのは、「住民であるあなたたち」だと、松下先生は強調されていました。

#### 《まちづくりの流れ》

